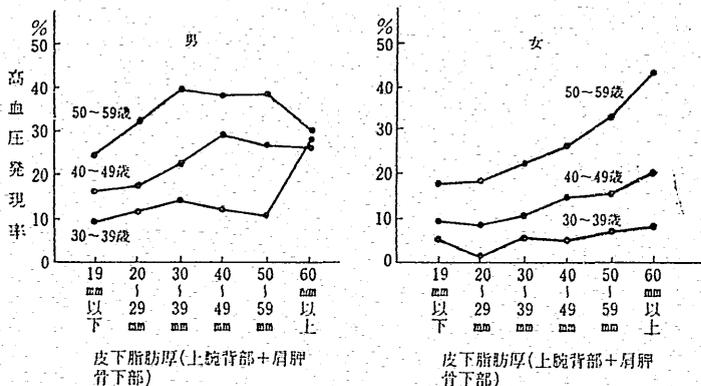


図9 皮下脂肪厚と高血圧との関係



8. 全血比重, 血色素量調査

(1) 成人層の貧血傾向を調査するため昭和47年度の女性の調査に引続き48年度は男性の全血比重, 血色素量の調査を行った。

男性について年齢別に全血比重別分布をみると図10に示すように1.054以下の低位にある者は18~24歳では5.1%, 25~29歳4.8%, 30歳代6.5%, 40歳代9.9%, 50歳代17.2%と年齢が増すにつれ多くなる傾向がみられる。このうち全血比重が1.051以下と献血基準にあわない程の低位にある者は, それぞれ0.7%, 0.8%, 0.8%, 1.7%, 2.8%である。昭和47年に実施した女性の調査結果と比較してみると女性は, 男性に比して全血比重低位の者が多い(図10)。

(2) 男性について年齢別に血色素量別分布をみると図11に示すように13.9g/dl以下の低位にある者は, 18~24歳では12.9%, 25~29歳で11.7%, 30歳代13.4%, 40歳代18.7%, 50歳代28.9%と年齢

図10 全血比重

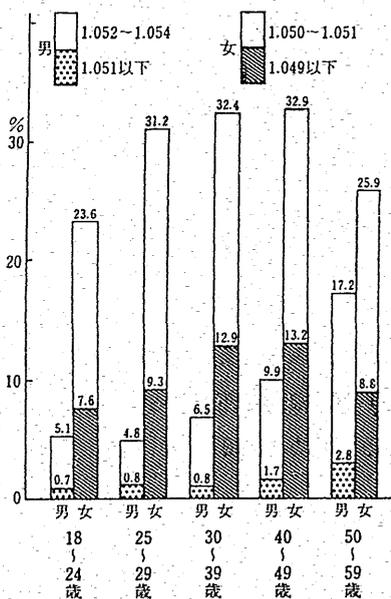
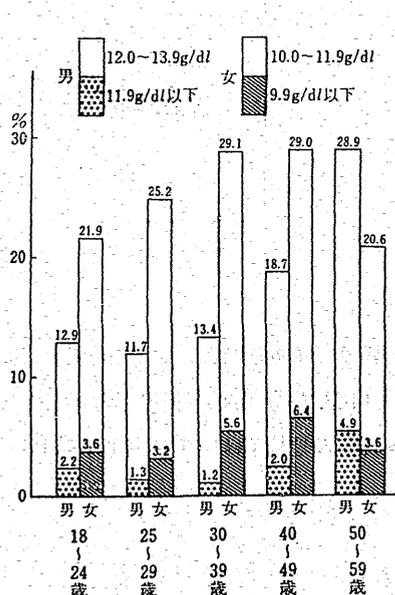


図11 血色素量



が増すにつれて多くなる傾向がみられる。このうち血色素量が 11.9 g/dl 以下の者は、それぞれ 2.2%, 1.3%, 1.2%, 2.0%, 4.9%である。

昭和47年に実施した女性の調査成績と比較してみると女性は男性に比して血色素量が低位にある者の割合はかなり高いが、50歳代では男性の方が女性をうわまわっている(図11)。

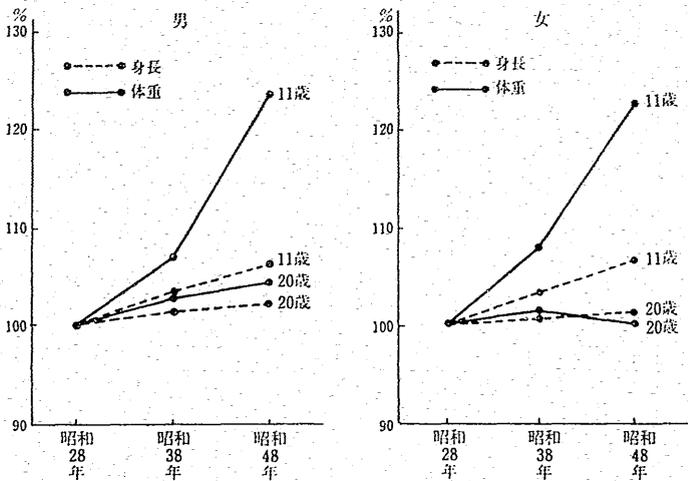
9. 身 体 発 育

(1) 青少年の体位は引続き順調な伸びをみせている。例えば発育成長期の11歳を例にとってみると男の身長では20年間に7.5cm, 10年間では, 3.8cm 伸びている。女性の身長は20年間に9.7cm, 10年間に4.5cm 伸びている。また20歳では20年間に男3.8cm, 女2.2cmの伸びがみられる(表7, 図12)。

表7 身長・体重の発育状況(11歳, 20歳)

年 度	11 歳				20 歳			
	男		女		男		女	
	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)
昭 和 28 年	133.0	29.4	134.0	30.0	162.1	54.7	151.4	49.4
38 年	136.7	31.4	139.2	32.4	164.4	56.1	152.9	50.1
48 年	140.5	36.1	143.7	36.8	165.9	56.8	153.9	49.5

図12 身長・体重の発育状況(昭和28年=100)



(2) 発育盛りの年齢層では、ここ10年間に約1年の発育の促進がみられる。例えば、48年の15歳の男子身長(163.2cm)と10年前の年の16歳の身長(163.9cm)がほぼ同じ値となっている。とくに女子の13~16歳の身長ではいずれも1年以上の発育の促進がみられる(表8)。